

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

平成 23 年度事業報告及び決算報告

I 平成 23 年度事業報告

【特定非営利活動に係る事業】

1. 住民活動支援事業

事業区分：自主事業

実施期間：平成 23 年 4 月～平成 24 月 3 月

内 容：岩船地域内における住民活動に関する各種支援（相談・仲介・情報提供等）の実施。

【事業実績】

朝日道の駅みどりの里内にある「グリーン・ツーリズム推進施設（旧バイオテクノロジー研究施設）」にて、活動相談、情報提供、会議室の貸し出し、各種問合せ対応などの住民活動支援を実施。

（主な相談内容）

- 自分の農場でグリーン・ツーリズムや都市農村交流を行いたいのだが・・・
→収穫・体験プログラムの開催支援／ファームエイド銀座への出店を斡旋
- 地域外 NPO より、生活弱者・高齢者支援に関する先進事例の情報提供依頼
→おたすけさんぽくや県内の N P O を紹介
- 地域外 NPO より、相談窓口の利用者数・内容の記録・保存方法の問い合わせ
→当センターの相談者カードの様式を提供

【センター利用者数について】

平成 22 年度のセンター利用者数は、574 件／755 人であった。

※ 住民支援窓口としての機能低下に歯止めが掛かっていない

→「会議・打合せ」利用が前年に比べ半減

→「相談・問い合わせ」は過去最低の件数（最も多かった H15 年の 1/7 程度）

→「情報収集・提供」については前年並み

◎住民支援事業を展開していくためには、抜本的な対策が不可欠な状況である。

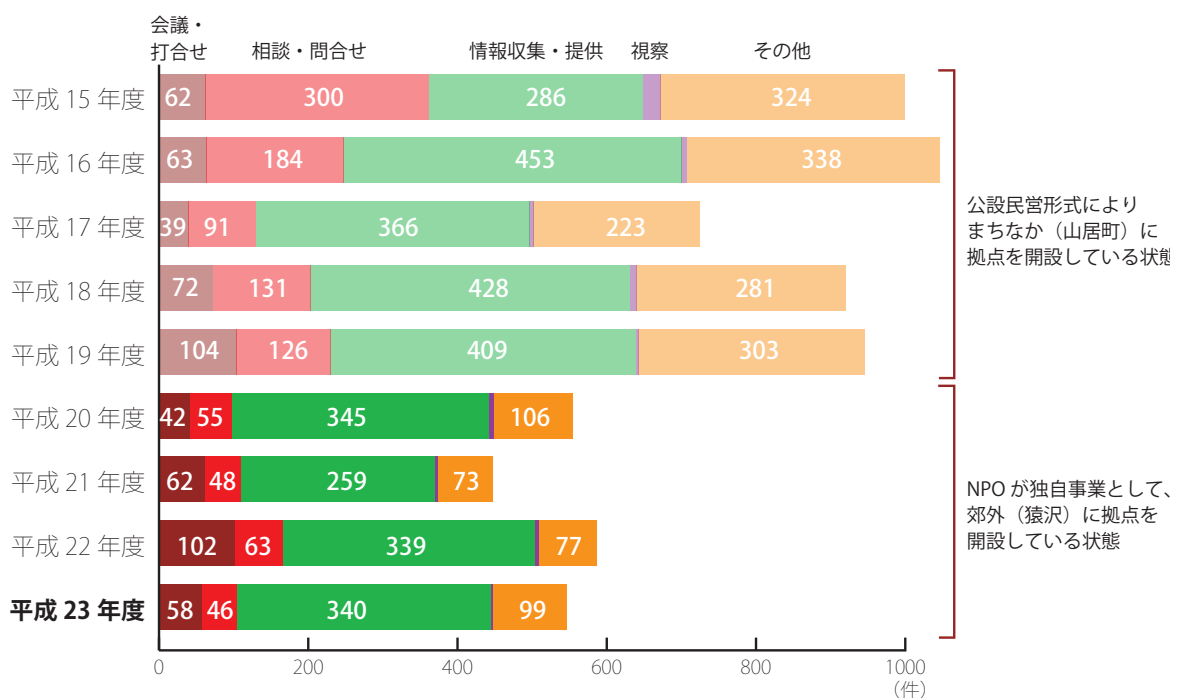


図 都岐沙羅パートナーズセンターの利用件数の推移

2. コミュニティビジネス支援

1) 地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域新事業移転促進事業） ～ソーシャルビジネスノウハウ移転・支援事業～

（補助事業：経済産業省／H23.5～H24.3／H22年度からの継続事業（最終年度））

新潟県岩船地域では、平成11～19年度にソーシャルビジネス／コミュニティビジネス（以下、SB／CBという）起業家育成を官民一体となって取り組んだ結果、中山間地域を含んだ地方部で、数多くの起業家を輩出することができた。この経験から、中山間地域を含んだ地方都市におけるSB／CB起業家支援では、都市部とは異なるアプローチ・ノウハウが必要であると実感。

本事業は、当団体が実践してきた中山間地域を含む地方都市でのSB／CB起業家育成について、そのノウハウ・コーディネート術を、研修及びOJTを通じて他の地方都市にある中間支援組織等に移転することを目的に実施。

【移転先団体と実施した事業内容及び成果】

① NPO 法人 風・波デザイン（岩手県紫波町）

【事業内容】

- ・逸品発掘交流会の実験開催
- ・盛岡市のショッピングセンターでPRイベントを開催
- ・女性起業家長屋の開設支援

【成果】

- ・移転先団体と複数のSB/CB起業家（予備軍）が協働し、民間独自の拠点整備の動きが始まった。

【実績】

- ・新規事業創出数：1件
- ・起業予備軍の発掘・育成：10件



② NPO 法人 アットマークリアス NPO サポートセンター（岩手県釜石市）

【事業内容】

- ・スタッフ研修（仮設住宅支援／中越での現地研修）の実施
- ・釜石市で開催されたCB講座への講師派遣

【成果】

- ・被災地においてSB/CBによる復興の気運が高まった。（潜在的に抱えていた地域課題が震災で顕在化）

【実績】

- ・震災復旧・生活再建が優先だったため、SB/CB育成に関する実績はなし。



③ NPO 法人 杜の伝言板ゆるる（宮城県仙台市）

【事業内容】

- ・ C B 講座への講師派遣
- ・ みやぎ N P O プラザ開館 10 周年事業への協力

【成 果】

- ・ 講座開催→フォローアップという一連の流れを仙台市以外にある N P O を対象に行ったところ、より幅広い N P O が S B / C B により経営基盤の確立に取り組み始めた。

【実 績】

- ・ S B / C B を準備中の N P O : 15 団体
- ・ S B / C B を開始した N P O : 4 団体



④ NPO 法人 NPO さんじょう（新潟県三条市）

【事業内容】

- ・ C B 講座の開催及び修了生へのフォローイベントの開催支援

【成 果】

- ・ これまで普及啓発が中心であった S B / C B 支援の取り組みが、具体的な事業としてスタートし、実際に S B / C B 予備軍が顕在化した。

【実 績】

- ・ 新規事業創出数：0 件
- ・ 起業予備軍の発掘・育成：8 件



⑤ 中越沖復興支援ネットワーク（新潟県柏崎市）

【事業内容】

- ・ 元気づくり支援事業の企画・運営ノウハウの提供
※ このノウハウをベースに「柏崎市元気なまちづくり事業補助金」が実施された。

【成 果】

- ・ 透明性の高い助成事業の仕組みを構築・実施した結果、S B / C B 予備軍が数多く発掘され新規事業の開始、活動から事業へとレベルアップした団体が多数生まれた。

【実 績】

- ・ 新規事業創出数：5 件 / 起業予備軍：11 件



2) 地域社会雇用創造事業メンター業務 (委託事業: 認定NPO法人ふるさと回帰支援センター)

【概要】

農村六起ビジネスプラン・コンペにおいて、農村六起ふるさと起業家に認定された起業家(西畑良俊氏/粟島浦村で竹パウダーの製造・販売を核としたビジネスを立ち上げる計画)に対し、起業するまでの間、起業のために必要な助言・支援等を実施。

【成果】

- ・平成24年1月に開業。



3) 食を活かしてふるさと満喫実施地域育成支援事業 (補助事業: 新潟県) ～村上まんまスティックスイーツ提供による誘客促進実験プロジェクト～

【概要】

村上地域内の食材を活かしたスイーツを開発し、地域内の飲食店で手軽な体験プログラムと共に提供する仕組みを構築することで、冬期間における誘客数の拡大を図る。

→複数の事業者が連携・協働して展開するコミュニティビジネスのインキュベーション(立ち上げ支援)プロジェクトとして実施。

【実施期間】

平成24年2月1日～29日(29日間)

【実施内容】

- ・地域内の飲食店で、地元食材「村上まんまスティック」を使用したスイーツのメニュー開発と販売。
- ・地域内の飲食店で開催する体験プログラム「手軽な体験+スイーツ」キャンペーンの実施。
- ・瀬波温泉旅館と提携し、宿泊者を対象に「手軽な体験+スイーツ」の新たな着地型プログラムをセットにした宿泊プランの販売。

(協力事業者) 井筒屋/珈琲屋/マーノマーノ/ 椿の宿吉田や/ゆ処そば処磐舟/ 大観荘せなみの湯/ホテル瀬波観光/ 旅館大清/ニューハートピア新潟瀬波/村上市観光協会(順不同)



【実績】

- ・29日間で163名の観光客が利用
(内訳) スイーツのみ: 94名/お手軽体験+スイーツ: 69名(うち宿泊パック4名)

【成果】

- ・珈琲屋は、キャンペーン終了後に、人形様巡り特別メニューとして提供。
- ・実際に村上まんまスティックを3店舗で使ってもらえることができ、キャンペーンを通して村上まんまスティックの認知度もあがりつつある。

3. 地域ツーリズムの開発・プロモーション

1) 村上地域グリーン・ツーリズム協議会事務局の運営（自主事業）

朝日みどりの里にある朝日グリーン・ツーリズム推進施設（旧バイオテクノロジー研究施設）にて、官民協働で設立した「村上地域グリーン・ツーリズム協議会」の事務局を運営。各種会議の連絡調整・対外的な連絡窓口を担った。

（実施内容）

- 総会、幹事会、ワーキングチーム会議の運営
- 協議会の事務・経理作業

2) 村上グリーン・ツーリズム協議会事業の実施（自主事業）

村上地域グリーン・ツーリズム協議会の平成 23 年度事業について、全事業の企画・調整・コーディネートを担当した。

【実施内容】

(1)「おいでよ新潟！子ども体験活動受入拡大支援事業」（補助事業：新潟県）

①民泊受入希望者研修会（H23.8,23-24）

参加者：10名

概要：秋田県仙北市の「グリーン・ツーリズム西木研究会」への視察。農家民宿に宿泊し、農村生活体験した。



②教育旅行誘致に向けた旅行代理店への営業活動（H23.11.23 / H24.1.18-19）

概要：11/23 ファームエイド銀座のGinza メッセに於いて村上岩船地域における教育旅行に関するプログラム内容や受入体制について紹介。

1/18 銀座新潟塾に於いて地域の食文化を紹介した。

1/19 都内の旅行代理店を訪問し、パンフレットの提供・地域のPR。



③体験インストラクター養成講座（H24.3.1）

概 要：体験インストラクターのための基礎研修会を企画・実施

参加者：25名

会 場：朝日みどりの里体験交流センター



④受け入れ現地説明会（H24.3.25）

概 要：村上岩船地域を巡る「歴史・文化・産業にふれあうバスツアー」を開催。
村上地域内の4つの施設を見学・体験をした。

参加者：5名



(2) 自主事業

①体験プログラム受け入れ強化キャンペーンの実施（H23.9.25）

概 要：体験受け入れのPR活動として、「あさひ商工まつり」にブース出店し、6つの出前体験受け入れを行った。

参加者：55名



3) 村上地域グリーン・ツーリズム地域内受入実験事業（委託事業：県村上地域振興局）

村上地域振興局農林振興部からの委託を受け、地域内の民泊受入先開拓を目的に、実験的に民泊を伴う体験受入実験を実施。

- 【実施時期】 平成 23 年 12 月 3 日～ 4 日
- 【受入農家】 村上市長政地区（1 戸）、村上市川部地区（1 戸）、関川村土沢地区（1 戸）、関川村下関地区（1 戸）関川村上関地区（1 戸）
- 【体験者】 13 名
- 【概要】 子どもの農山漁村生活体験の受け入れ体制の整備及び民泊受入の農家の新規開拓を推進するために、民泊をともなう体験受け入れ実験を実施。
- 【成果】 農家民泊を受け入れるにあたり、受入可能な家庭を今回は、荒川地区、神林地区、関川村と昨年度とは違う地域で掘り起こすことができた。受け入れ農家は実際に受入したことにより、受け入れについて不安部分が少し取り除かれ、今後の農家民泊受入に対する意識を高めることができた。



4) 村上岩船地域・地域資源活用調査（委託事業：県村上地域振興局）

- 【実施時期】 平成 23 年 11 月 18 日～平成 24 年 1 月 31 日
- 【概要】 村上岩船地域内の地場産業を素材とした観光プログラムの開発の可能性を把握し、新たな観光プログラムの企画・提案を目的に、地場産業の関係者に対してヒアリング調査を行い、当地域の地場産業を素材とした「学び」を中心とした新たなプログラムを作成した。
- 【成果】 地場産業関係者へのヒアリング：10 件
新たな観光プログラムの提案：3 プログラム

5) 朝日まほろば夢農園管理事業（委託事業：村上市／朝日まほろば夢農園管理組合）

都市住民との交流促進を目的に、村上市が朝日みどりの里内に開設した貸し農園（クラインガルテン）について、その管理運営を支援。

- 【実施概要】
- ・農園の使用者への広報業務
 - ・農園使用者同士の交流企画
 - ・ホームページの作成・更新
 - ・夢農園の事務局業務（窓口業務・経理業務・交流イベントの運営など）
- 【実績】
- ①夢農園プレス発行
 - 9回発行（4～9月・12月・2～3月）
 - 発行部数 342 部（累計）／ 農園利用者、組合員に配布
 - ②朝日まほろば夢農園ホームページの作成・更新
 - 村上市で作成していたホームページから移行、新たに作成し、随時農園の情報をブログにて更新。
 - 平成 23 年 4 月 26 日運用開始

ホームページアドレス <http://yumenouen.com/>

③交流イベントの企画

→年4回のイベントを企画・準備。

H23.4.17 開園式／H23.6.4 山菜料理教室／H23.7.30 納涼祭／H23.10.30 収穫祭

【成 果】

- ・夢農園年間利用者数 (H23.4.16～12.31) 533人
- ・交流イベント参加者数 延べ140名

→開園式51名／山菜料理教室27名／納涼祭28名／収穫祭34名



6) 地域資源活用推進事業～来てみて、食べて、村上・岩船まるごとプランづくり～ (委託事業: 県村上地域振興局)

【事業期間】 平成23年9月～平成24年2月

【事業概要】 村上・岩船地域内の温泉旅館及び観光地等を会場として、村上・岩船地域の特産品や地元食材を使った料理等の地域資源を観光客に紹介するイベントの企画及び集客力向上に向けた宿泊パック化を観光関係者と連携して実施。

【開催実績】 全6回開催 (H23.9～H24.2)

- 09/16(金) テーマ: 粟島の旬を味わう
会 場: 瀬波温泉 大観荘せなみの湯
参加者: 33名
- 10/21(金) テーマ: 蔵元で楽しむ地酒の味わい
会 場: 大洋酒造(株)「和水蔵」
参加者: 31名
- 11/17(木) テーマ: 雑穀を使った創作料理を味わう
会 場: 関川村「東桂苑」
参加者: 30名
- 12/09(金) テーマ: 酒米を味わう
会 場: マーノマーノ
参加者: 22名
- 01/20(金) テーマ: 伝統の技「村上堆朱」の器で味わう
会 場: 割烹「鳴海」
参加者: 30名
- 02/17(金) テーマ: 秘境「奥三面」春を待つ山里の暮らしと食
会 場: 井筒屋
参加者: 28名



- 【成 果】 村上・岩船地域の観光や文化・特産品等をイベントで紹介することによる地域外からの集客向上への貢献と、地元開催で地域内からの参加により、地域資源の「豊かさの再認識」と「発見」に繋がった。
また、各回の開催テーマにより、ゲスト・会場が異なることから、観光施設や生産者・温泉地などの農商工連携の強化が図られた。

7) 新潟・食と花の交流プログラムの推進 (自主事業)

平成 21 年度から実施している新潟市でのプロモーションプログラム「おとなの夜学」を継続して実施。

【事業期間】 平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月

【概 要】 村上圏域の豊かな地域資源を紹介し、地域への集客の向上を図るため、新潟市古町にあるワンディシェフの店「田から屋」を会場として、生産者自らが解説しながら、地酒や地元食材を使った料理を提供するイベントを開催。

【開催実績】 11 回開催 ※ 内 1 回は庄内・村上岩船地域広域連携推進会議主催

04/21(木)	能の里を楽しむ (参加者 14 名)
05/26(木)	桑の味力を楽しむ (参加者 15 名)
06/22(木)	笹川流れの干物を地酒とともに味わう (参加者 26 名)
07/21(木)	自然食料理を味わう (参加者 30 名)
08/31(水)	村上食材を蒸して味わう (参加者 16 名)
09/29(木)	酒米を料理で味わう (参加者 20 名)
10/27(木)	灰から生まれる食文化を楽しむ (参加者 14 名)
11/29(火)	新そばと村上地酒を楽しむ (参加者 25 名)
12/22(木)	塩引き鮭を丸ごと味わう (参加者 27 名)
01/24(火)	県境で隣接する二地域の酒 (参加者 26 名) / 庄内・村上岩船地域広域連携推進会議主催
03/22(木)	伝統食『岩船麩』を味わう (参加者 17 名)

【成 果】 地域の観光や文化・特産品を紹介することにより、村上圏域開催のイベント「おとなの夜学&ランチ in 村上岩船」への参加と地域への集客向上に貢献した。



8) トキ × ミツバチ応援プロジェクト (事業参画/食と地域の交流促進対策交付金事業)

【事業期間】 平成 23 年 8 月～平成 24 年 3 月

【概 要】 東京銀座と新潟・村上・佐渡の 3 地域が連携して都市農村交流を推進する「トキ × ミツバチ応援プロジェクト」において、首都圏の消費者が銀座で新潟(新潟市、佐渡市、村上市)の農家と出会い、交流し、直接つながる(農産物の直接購入や援農を含めたコミュニティを複数構築する)ための交流プログラ

ムの開発、情報提供システム整備を実施。

【実績】 ①新潟の食の魅力を発信するセミナー（銀座新潟塾）開催

→ 11/10（参加 37 名）、1/18（参加 43 名）

→新潟の「農」をテーマに農業生産者と東京の食に携わる関係者をゲストに招き、新潟の食を絡めたセミナー（講演、パネルディスカッション、リレートーク）を開催した。セミナー終了後、農産物等を紹介する交流会を開催。



②ファームエイド銀座でのプロモーション活動

→ 10/2、11/23（2回実施）※9～10月には銀座にはさがけを設置してPR

→銀座で開催される都市農村交流イベント「ファームエイド銀座」に出店し新潟の農の魅力を生産者自身が発信するプロモーション活動を実施。



③生産地訪問ツアーの企画・開催

→ 2/5-6 開催（参加者 15 名）

→新潟の農業生産現場を訪問し、現地見学・体験等を通じて生産者との交流を深めるツアーを企画・開催。



④情報発信の仕組みづくり

→新潟の生産者の情報を、銀座ミツバチプロジェクトと連携して発信していくためのWEBサイトを立ち上げた。

【成 果】 ファームエイドでは、銀座中学校の生徒がボランティアで物販の手伝いをして頂くなどで銀座との交流が図られた。またツアーではファームエイドや銀座新潟塾でPRしたものを実際の現場に来ていただき相互交流で繋がりが一層深まった。

9) つきさらカントリーカレッジ設立事業 (事業参画/食と地域の交流促進対策交付金事業)

【事業期間】 平成23年8月～平成24年3月

【事業概要】 カントリーカレッジ開校に向け、カリキュラム作成の基礎となる地域の生業・文化のデータ収集と編集作業を行うと共に、実験的な学びプログラムを企画・試行によるマーケティングを実施。

【事業実績】 ①なりわい・文化物語の取材・編集 (32ヶ所)

→各団体、個人からヒアリング調査を実施。団体の成り立ち、現在の活動内容、今後の活動計画などの聞き取りを行い、データベース化。今後どのように活用できるかについても検討を行った。

②学びのプログラム開発・試行

→学びのプログラムを実験的に実施 (秋・冬プログラムの試行)

「ほんとう屋」の原木しいたけもぎ取り体験・昼食会 (11/19開催/参加者18名)

神林地区里本庄の磯部農場で里山散策や花炭づくり・原木しいたけもぎ取り体験を行った。その後昼食づくりの体験では「しいたけシュウマイづくり」など磯部さん家族と行い自家製漬物、しいたけスープなどの昼食で交流を楽しんでもらった。

古民家で手作り味噌蜜蝋キャンドルづくり体験 (2/25/参加者2名)

朝日地区大須戸の農家民宿「ひどこ」を会場に初日は蜜蝋づくり体験と大豆の浸漬作業を行い、夕食では地域の方々との交流会を実施。翌日は、早朝から豆を煮て、味噌造りの作業を体験。作業終了後昼食では、囲炉裏で焼きおにぎりなどが振る舞われた。



③プログラム企画立案に向けた研修会

→つきさら塾形式での講座を3回開催

<第1回 (1/31) >

テーマ 地域のお宝を体験観光に育てよう ～長良川おんぱくの舞台裏～

講師 蒲 勇介氏 (長良川おんぱく事務局長)

参加者 19名

<第2回 (2/7) >

テーマ 生業を見つめ直すことによる学びの場づくり～森の聞き書きからなりわい創造塾～

講師 渋澤 寿一氏 (なりわい創造塾長) / 中村 文明氏 (多摩川源流研究所長)

参加者 22名

<第3回 (2/20) >

テーマ 体験観光・体験学習によるまちづくり～交流人口を増やすための体制づくり～

講師 若林 伸一氏 (NPO法人自然体験学校理事長)

参加者 12名

【事業成果】 活動団体へのヒアリング調査により地域内のデータベースの作成ができた。また研修会をとおして、この地域の素材を有効利用できることが分かった。プログラムの試行により問題点もわかり、今後のプログラム造成に役立てられた。



4. 地域づくり事業のコーディネート

1) 村上市市民協働のまちづくり推進業務 (委託事業：村上市自治振興課)

【事業期間】 平成 23 年 7 月～平成 24 年 3 月

【概要】 村上市が推進する「市民協働のまちづくり」において、各地区担当者及び職員、地域住民に対し専門的知見から地域の実情に応じた指導・支援を行い、各地区の地域まちづくり組織化を支援。

【実績】 ①市全体に対する支援

- ・担当者打合せ／コンサルティング (4 回)
- ・担当職員研修会の企画、運営 (2 回)



②荒川地区に対する支援

- ・担当者打合せ／コンサルティング (11 回)
- ・検討プロセスの検討、提案
- ・ワークショップ運営支援 (4 回) ※ 専門家派遣も併せて実施
- ・ワーキングチーム運営 (6 回)
- ・設立準備会へのオブザーバー出席 (1 回)
- ・会議資料作成指導、補助 (10 回)



③神林地区に対する支援

- ・担当者打合せ／コンサルティング（3回）
- ・検討プロセスの検討、提案
- ・講師派遣の実施（1回）



④村上地区に対する支援

- ・担当者打合せ／コンサルティング（6回）
- ・村上地域における組織化検討プロセスの検討、提案
- ・ // ワークショップ運営支援（4回）※ 専門家派遣も併せて実施
- ・ // ワークショップ資料作成指導、補助（4回）



⑤朝日地区に対する支援

- ・担当者打合せ／コンサルティング（6回）
- ・検討プロセスの検討、提案
- ・ワークショップ運営支援（5回×5地域＝25回）
- ・ワークショップ資料作成指導、補助（5回×5地域＝25回）



⑥山北地区に対する支援

- ・担当者打合せ（1回）
- ・先進地視察先の紹介、事前調整（1回）

【成 果】 市職員・地域住民共に、どのようになるのかイメージしづらい中での地域組織立ち上げであったが、無事、全17地域でまちづくり協議会が発足した。中でも、ワークショップ支援を丁寧に行った荒川・朝日については、支所職員の多大なる尽力により、かなり理想的な展開での組織化が図れた。本事業における「協働」のあり方は、県内でも非常にレベルの高いものであった。

2) 地域活動体験コーディネーター設置事業 (委託事業:新潟県県民生活・環境部県民生活課)

【事業期間】 平成23年4月1日～平成24年3月31日

【概要】 学校と地域を結び、子どもたちの社会活動への参加を促すための地域活動体験コーディネーターを設置し、学校と地域の連携を促す事業を展開する。

【実績】 ①コーディネート事業 (5件/50名)
→総合学習でのボランティア活動先の紹介。蚕の飼育についての指導、配布などについての紹介。大学の聞き取り調査、オープンキャンパスの現地調査のコーディネート等



②会議出席・研修・取材・調査・打ち合わせ (40件)

→地域と学校の連携している総合学習の取り組み取材」、ブログ、情報誌での紹介。新潟県全域でのコーディネーター研修会の参加。

→キャリアスタートウィーク実行委員会、勤労青少年ホーム運営委員会、「郷育のまち・村上」推進実行委員会、村上市若年者職業自立支援ネットワーク会議等の会議出席

③情報誌発行 (5回発行/発行部数5000部 (累計))

→教育委員会を經由で市内全域の学校に配布

④情報交換会の開催 (1回開催/学校と地域を結ぶオープンセッション)

→平成23年8月3日に開催/参加者104名

参加者内訳：ブース参加者41名/地域活動コーディネーター10名/学校PTA41名
/報道2名/スタッフ13名

→村上東中学校区より「鮭を中心とした命のリレーの取り組み」について事例発表。その後、学校関係者がブース廻り意見交換を行った。最後に「学校と地域がもっとつながるための相談会」と題し、グループトークを行った。



⑤平成21～23年度地域活動体験コーディネーター設置事業報告書作成

→全県の地域活動コーディネーターで3年間の総括を兼ねて事業報告書

の作成を行った。

- 【成 果】 この事業が最終年度となったが、来年度は村上市単独予算で情報交換会が開催されることになった。今後も学校地域コーディネーターと連携して学校と地域を結ぶ役割を果たしていく必要がある。

3) 庄内・村上岩船地域広域連携推進会議 (事業協力：山形県庄内総合支所・新潟県村上地域振興局)

【事業期間】 平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月

【概 要】 隣接する山形県庄内地方と村上岩船地域との地域連携を推進するための事業を実施。両地域の行政・NPO等で協議会を組織し、具体的な連携事業を実施。当センターは協議会の事務局として実施した全事業の企画・調整・コーディネートを担当した。

- 【実 績】 ①山王商店街ナイトバザール参加 (H 23.9.17 /村上から 7 名参加)
→鶴岡市内の山王商店街で月 1 回行われるナイトバザールに村上物産会、小杉漆器店、すみれ工房が出店し、村上市の物産販売とPRを実施。
- ②ふるさとの観光と大物産まつり参加 (H23.10.23-24 /庄内から 4 店舗参加)
→村上市で行われた物産まつりに山王マルシェなど 4 店が出店し、庄内の物産販売と庄内旬味鍋 (芋煮) をふるまって頂きPRを実施。



- ③山王通り完成記念祝賀会イベント参加 (H23.11.5 /村上から 2 名参加)
→山王商店街の通りの歩道の完成記念イベントに、村上から小杉漆器店、成田屋が出店し、物産販売とPRを実施。

- ④お宝街道きわめ隊・現地調査 (H23.10.18 / 10.25)
→来年度開催予定の庄内・村上地域を楽しむツアー企画のため、18日は庄内、25日は村上地域の現地調査を実施。それをもとに2案のツアーを組み立てた。



- ⑤大人の夜学「県境で隣接する二地域の酒」の開催 (H24.1.24 /参加者 26 名)
→情報発信事業として、両地域の良さを酒というテーマを使い地域の情報



を発信・PRを実施。庄内からは竹の露（合）、村上からは宮尾酒造（株）が参加。

⑥フェースブック講座の開催（H24.3.6（村上）／3.28（庄内）参加者延べ44名）

→情報発信するための媒体として、Facebookの利用を試験的に行うため、講師に公益のふるさとづくり鶴岡の佐藤仁さんを迎え、マーノ・マーノ（村上）及び茶寮「遊」（鶴岡）で講習会を開催。



【成果】 来年度に向けてのツアー企画も両地域のNPOが主体となり計画づくりが進んだ。各地域で行われたイベントに民間の方々为主体となって参加したことにより、今までとは違う形で相互交流が進み来年につながった。情報共有も新しい媒体を利用し広げていけると思われる。

4) 集落地域の活性化と中間支援組織について考えるワークショップ（事業協力:国土交通省／(財)日本地域開発センター）

【事業期間】 平成24年1月～3月

【概要】 人口減少・高齢化が進む集落では、地域の活性化に取り組むための人材やノウハウ等が不足しており、外部からの支援が期待されている。こうした集落地域のニーズに応じ、外部支援をより効果的なものにするため、集落地域と外部支援をつなぐ「中間支援組織」の存在がますます重要となってきている。集落地域の活性化に向け、実際に活動しているの方々にお集まりいただき、以下のような議題を中心にディスカッションを行った。

- 集落の活性化に向け、中間支援組織には、どのような役割が期待されているか
- 役割を果たすためにはどのような中間支援組織の充実・強化が求められるか
- 住民や地域の団体と中間支援組織、行政などとの関係をどのように築いていくか

【実績】 日時：平成24年2月17日（金）10時～16時
会場：村上市教育情報センター2F会議室
主催：国土交通省国土政策局総合計画課
運営：一般財団法人日本地域開発センター
参加者数：45名



主な内容：集落地域からの事例報告①（高根フロンティアクラブ）
〃 ②（十日町地域おこし実行委員会）

中間支援組織からの取り組み報告①（都岐沙羅パートナーズセンター）
 // ②（市民協働ネットワーク長岡）
 有識者からのコメント（林泰義／安藤周治）
 グループディスカッション（ワークシヨップ）
 パネルディスカッション

【成 果】 本事業は、国交省施策に反映させるために、国が実施したものであった。地区ディスカッションについては、東日本地域では1カ所のみで開催であり、そんな中で村上地域が選定されたことは、非常に意義があると思われる。

5) キサラ・コミュニティカレッジの開催（自主事業）

【概 要】 地域住民が講師となり、参加費及び講師への謝礼を基本的にキサラで行う講座の開催

【開催実績】 1回

○旬のさくらんぼを味わう（6/27 開催／参加者 9名）

→村上市大須戸にある中山農園のさくらんぼハウスでさくらんぼの食べ放題を実施。村上市内に住んでいるのに、中山農園を知らなかったという参加者もあり、「来年も開催してほしい。」という感想をもらう。



5. 商品開発支援

1) 村上逸品発掘交流会事業（委託事業：村上市地産地消推進協議会／村上市）

【概 要】 農商工連携による新商品・新サービス開発、販路拡大のきっかけづくりを目的に、地域内外の農商工関係者が集まり、実際の産物・製品を見ながら、参加者同士で情報・意見交換会・品評会を実施。また、交流会終了後、出品者の追跡調査も実施。

【開催実績】 平成 23 年 11 月 25 日（金）参加者：52 名／出品団体：5 団体

【成 果】 ・出品応募者が自発的に出てくるようになったことから、地域の商品開発の意識が高まってきた。
 ・実際に販売に携わるゲストや食に携わるゲストを呼ぶことで、その後の商



- 談に結びついたり、商品開発に対しての的確なアドバイスが得られた。
- ・参加者同士が自己紹介をすることにより、参加者同士が結びつき、新たな商品開発や販売戦略を組むという例が生み出された。

6. 情報発信事業

1) つきさら祭り 2011 ～協働のまちづくりを考える～ (自主事業)

【概要】 NPO 法人設立 10 周年記念事業として、市民協働のまちづくりに関係している方々や都岐沙羅パートナーズセンターがこれまで支援いただいた方々、ニューにいがた里創プランで支援を受けた起業家・市民活動団体等が参加し、協働の具体的あり方についてのフォーラムを開催。併せて、起業家の販売促進や実験販売の実施

【開催実績】 日 時：平成 23 年 11 月 26 日 (土) 9:00～16:30
 会 場：村上市民ふれあいセンター
 来場者数：約 250 名
 主な内容：都岐沙羅パートナーズセンター法人設立 10 周年記念式典
 基調講演 (講師：結城登美雄氏)
 つきさら食堂
 トークセッション (コーディネーター：林泰義氏)
 ※ イベント終了後、記念祝賀会をタウンホテルにて開催



【成果】 都岐沙羅パートナーズセンターのこれまでの歩みをふりかえりつつ、新たな「協働」について考える機会を地域に提供できた。

2) 週末観光情報の編集・情報提供 (自主事業)

【概要】 週末に村上岩船地域内に訪れる観光客を対象にした情報発信ツールとして、「週末観光情報」を作成し、地域内の観光施設や道の駅等に掲示してもらう。(データを毎週木曜日に配信し、各所でプリントアウトの上、掲示してもらっている)

【実績】 発行回数：52 回
 配信先：24 カ所

(配信先内訳) 江戸庄/夕日会館/朝日みどりの里/県農業改良普及センター/村上地域振興局地域振興課/関川村農林観光課/瀬波温泉旅館組合/村上市観光協会/吉田や/大和屋/ホテル瀬波観光/大観荘/汐美荘/静雲荘/ニューハートピア新潟/大清/瀬波ビューホテル/はぎのや/盤舟/村上市商工観光課/角長/イヨボヤ会館/村上市民ふれあいセンター/神林道の駅

7. 各種講座・研修会の開催・コーディネート

1) 中間支援組織、市町村市民活動支援センタースタッフ研修会開催業務 (委託事業:新潟県県民生活・環境部 県民生活課)

- 【概要】 CB や SB への的確な対応と支援のあり方をテーマとし、都岐沙羅パートナーズセンターでがこれまで実際に支援をしてきた事例の紹介や、相談対応のシミュレーションプログラムを実施。
- 【開催実績】 平成 23 年 3 月 16 日 (金) 13:30 ~ 16:30 / 参加者 10 名
- 【成果】 実際の事例を取り上げ、シミュレーションを行う事で、現場で起こりえる様々な CB/SB 支援に対する対応など、多くの意見や考えが出た事で、参加者同士で共有でき、今後の対応に役立つものとなった。

8. その他

1) 新しい公共支援事業への協力 (会議出席・講師派遣)

新潟県及び新しい公共にいがた会議 (くびき野 NPO サポートセンター・新潟 NPO 協会連合体) が実施している新しい公共支援事業において、講師派遣・会議出席等の事業協力を実施。

- 【会議出席】 H23/07/11 新しい公共支援事業・中間支援組織担当者会議
H24/01/18 新しい公共支援事業ポータルサイト検討会議
H24/02/08 新しい公共支援事業ポータルサイト検討会議
H24/02/22 新しい公共支援事業ポータルサイト検討会議
H24/03/06 新しい公共支援事業ポータルサイト検討会議
H24/03/22 新しい公共支援事業ポータルサイト検討会議
- 【事例発表】 H23/11/17 組織運営講座<基礎力アップ編> (長岡市開催)
H23/12/19 組織運営講座<基礎力アップ編> (上越市開催)
- 【事業協力】 H24/03/17 出前相談 (新発田川を愛する会)

また、同事業で実施している利子補給制度 (委託事業実施にあたり、つなぎ融資が必要な場合のみ対象) に申請し、有効に活用した。

2) 東日本大震災復興支援 (自主事業)

東日本大震災で被災した地域の中間支援組織 (岩手県釜石市・アットマークリアス NPO サポートセンター) に対して、人的・物的支援 (事務用備品の提供等) を実施。

【その他事業】

1. 物販事業

事業区分：自主事業

実施期間：平成 23 年 4 月～平成 24 月 3 月

内 容：NPO 法人まちづくり学校が発行したまちづくりテキストブック「マチダス 2011」の委託販売を実施。

【NPO 法人の運営】

1. 広報紙発行事業

内 容：つきさらパートナーズプレスの発行。

実 績：2 回発行し、NPO の会員、都岐沙羅の起業家、地域内の協力団体等に配布した他、活動支援窓口来訪者に配布。(累計約 500 部)

2. 理事・事務局スタッフの活動

1) 講演・講師 (9 件)

- H23/04/16 柏崎市元気なまちづくり補助金 H22 成果発表会・審査員 (大滝理事)
- H23/05/21 柏崎市元気なまちづくり補助金 H23 年度公開審査会・審査員 (大滝理事)
- H23/05/27 豊栄地区自治連合会研修会・基調講演 (斎藤事務局長)
- H23/06/09 新潟県農山漁村女性交流協議会講演 (大滝理事)
- H23/06/11 置賜・NPO 経営セミナー・講師 (斎藤事務局長)
- H23/11/29 中小企業大学校三条校・中小企業支援担当者等研修講師 (大滝理事)
- H24/02/13 コミュニティ活動・コミュニティビジネスに関する勉強会・講師 (斎藤事務局長)
- H24/03/15 村上保健所職員研修・講師 (斎藤事務局長)
- H24/03/18 上越市柿崎まちづくり協議会・講演 (大滝理事)

2) 委員会・会議出席 (24 件)

- H23/04/12 村上市観光協会・企画開発委員会 (斎藤事務局長)
- H23/05/17 村上市観光協会・企画開発委員会 (斎藤事務局長)
- H23/05/24 (財) イヨボヤの里公社評議員会 (和田理事)
- H23/05/27 村上市社会福祉協議会評議員会 (和田理事)
- H23/05/29 にいがた災害ボランティアネットワーク・東日本大震災支援活動報告会 (斎藤事務局長)
- H23/06/20 にいがた健口文化フォーラム実行委員会 (斎藤事務局長)
- H23/06/29 村上市観光協会・企画開発委員会 (斎藤事務局長)
- H23/07/14 村上市観光協会・企画開発委員会 (斎藤事務局長)
- H23/08/01 にいがた健口文化フォーラム運営委員会 (斎藤事務局長)
- H23/08/18 村上市観光協会・企画開発委員会 (斎藤事務局長)
- H23/09/03 新潟 NPO 協会通常総会 (斎藤事務局長)
- H23/09/05 にいがた健口文化フォーラム運営委員会 (斎藤事務局長)
- H23/10/01 にいがた健口文化フォーラム (斎藤事務局長)
- H23/11/07 村上地域食育推進ネットワーク会議 (村山理事)
- H23/11/16 日本海きらきら羽越観光圏推進協議会会議 (斎藤事務局長)

- H23/12/15 村上市観光協会・企画開発委員会（斎藤事務局長）
- H24/01/30 男女共同参画計画策定委員会（村山理事）
- H24/02/10 観光資源活用トータルプラン・2次審査会（斎藤事務局長）
- H24/02/20 村上市観光振興計画・管理委員会（斎藤事務局長）
- H24/02/22 イヨボヤの里公社評議員会（和田理事）
- H24/02/25 村上市観光協会・企画開発委員会（斎藤事務局長）
- H24/03/15 男女共同参画計画策定委員会（村山理事）
- H24/03/16 村上市観光振興計画・管理委員会（斎藤事務局長）
- H24/03/23 村上市社会福祉協議会評議員会（和田理事）

3) 法人運営に関する活動

①理事会（13回開催）

- H23/04/06 第1回 (出席者12名/22年度決算見込・23年度事業見込等)
- H23/04/28 臨時 (出席者08名/23年度事業見込等)
- H23/05/20 第2回 (出席者10名/各事業進捗状況報告・各種依頼の検討)
- H23/06/14 第3回 (出席者08名/各事業進捗状況報告・各種依頼の検討)
- H23/07/08 第4回 (出席者07名/各事業進捗状況報告・各種依頼の検討)
- H23/08/03 第5回 (出席者11名/各事業進捗状況報告・各種依頼の検討)
- H23/09/06 第6回 (出席者08名/各事業進捗状況報告・各種依頼の検討)
- H23/10/05 第7回 (出席者09名/各事業進捗状況報告・各種依頼の検討)
- H23/11/07 第8回 (出席者08名/各事業進捗状況報告・各種依頼の検討)
- H23/12/12 第9回 (出席者08名/各事業進捗状況報告・各種依頼の検討)
- H24/01/13 第10回 (出席者12名/各事業進捗状況報告・各種依頼の検討)
- H24/02/08 第11回 (出席者09名/各事業進捗状況報告・各種依頼の検討)
- H24/03/08 第12回 (出席者12名/各事業進捗状況報告・各種依頼の検討)

②三役会議（2回開催）

- H23/04/14（第1回） H24/02/15（第2回）

③部会

開催無し

Ⅱ 平成23年度決算報告

平成23年度 特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター 収支計算書

平成23年4月1日 ～ 平成24年3月31日

科目・摘要	金額 (円)		増 減	備 考
	当初予算	決算額		
1 収入の部				
1) 会費・入会金収入	555,000	415,000	▲ 140,000	
正会員年会費	475,000	337,000	▲ 138,000	16団体×10,000円/59個人×3,000円
賛助会員会費	80,000	78,000	▲ 2,000	2,000円×39口
2) 寄付金収入	100,000	108,080	8,080	
3) 非営利事業収入	12,512,500	16,435,486	3,922,986	
4) 補助金・助成金収入	10,000,000	10,184,082		詳細は別紙1内訳書参照
5) その他事業収入	5,000	54,180	49,180	
6) その他	0	51,785	51,785	受取利息/会議出席交通費/他
当期収入合計 (A)	23,172,500	27,248,613	4,076,113	
前期繰越収支差額	30,912	30,912	0	
収入合計 (B)	23,203,412	27,279,525	4,076,113	
2 支出の部				
1) 非営利事業支出	6,835,000	13,268,559	6,433,559	
2) 補助金・助成金事業支出	10,000,000	10,892,873	892,873	詳細は別紙2内訳書参照
3) その他事業支出	0	100,000	100,000	
4) 管理費	6,307,272	2,752,189	▲ 3,555,083	
事務局人件費	4,164,761	691,740	▲ 3,473,021	事務局パート職員人件費 (経理事務員)
法定福利費	357,761	222,659	▲ 135,102	雇用保険/児童手当拠出金
福利厚生費	20,000	5,657	▲ 14,343	スタッフ健康診断
研修費	100,000	150,000	50,000	研修会講師・謝金及び旅費
旅費交通費	425,000	421,720	▲ 3,280	監事監査交通費・スタッフ業務移動交通費・事務局長交通費
理事会交通費	200,000	159,500	▲ 40,500	理事会出席理事への費用弁償
支払報酬	325,750	310,000	▲ 15,750	HP管理業務報酬・税理士決算支払報酬
会議費	11,000	14,000	3,000	総会会場使用料
通信費	100,000	163,113	63,113	電話代・メール便・切手・年賀状他
広告宣伝費	18,000	5,250	▲ 12,750	村上新聞年始特大号への広告
事務用品費	5,000	6,219	1,219	
消耗品費	0	0	0	
接待交際費	0	25,301	25,301	
印刷費	200,000	199,373	▲ 627	名刺/封筒/年賀状/リーフレット
支払手数料	20,000	8,630	▲ 11,370	
雑費	40,000	58,000	18,000	諸会費/協賛金
租税公課	30,000	16,400	▲ 13,600	契約用収入印紙、県提出用登記印紙
支払利息	220,000	224,478	4,478	つなぎ融資利息
消費税納付額	0	0	0	前々年度 (H21年度) 課税売上が1,000万円以下
法人税・住民税及び事業税	70,000	70,149	149	
5) 予備費	30,228	0		
当期支出合計 (C)	23,172,500	27,013,621	3,841,121	
当期収支差額 (A) - (C)	0	234,992	234,992	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	30,912	265,904	234,992	

別紙1 非営利事業収入及び補助金・助成金収入、その他事業収入の内訳

種別	事業名	金額	備考
非 営 利 事 業	地域活動体験コーディネーター設置事業	3,748,500	委託：新潟県県民生活課
	庄内・村上岩船地域広域連携事業	351,759	実費弁償：庄内・村上岩船地域広域連携促進協議会
	村上逸品発掘交流会	299,250	委託：村上市地産地消協議会
	地域資源活用推進事業	1,131,150	委託：村上地域振興局
	村上市市民協働のまちづくり推進事業	3,223,500	委託：村上市自治振興課
	地域社会雇用創造事業メンター業務	450,000	委託：認定NPO法人ふるさと回帰支援センター
	中間支援組織・地区ディスカッション	728,500	実費弁償：(財)日本地域開発センター
	中間支援組織スタッフ研修会	259,350	委託：新潟県県民生活課
	新しい公共支援事業	286,860	謝金：新しい公共にいがた会議
	朝日まほろば夢農園	1,448,400	委託：村上市／実費弁償：朝日まほろば夢農園管理組合
	村上地域グリーン・ツーリズム協議会事業	256,125	実費弁償：村上地域GT協議会 他
	村上地域グリーン・ツーリズム地域内受入実験事業	591,150	委託：村上地域振興局
	村上岩船地域・地域資源活用調査	409,500	委託：村上地域振興局
	トキ×ミツバチ応援プロジェクト	844,302	実費弁償：トキ×ミツバチ応援プロジェクト・新潟交流プログラム実行委員会
	つきさらカントリーカレッジ	1,576,690	実費弁償：つきさらカントリーカレッジ設立協議会
	新潟・食と花の交流プログラム事業	612,000	自主：おとなの夜学・参加費収入
	地域通貨キサラ運営事業	0	
	キサラコミュニティカレッジ開催事業	9,000	自主：参加費収入
	東日本大震災復興支援	0	
	設立10周年記念事業	209,450	自主：つきさら祭り2011・参加費収入
講師派遣・視察受入	0		
	計	16,435,486	
補 助 金 ・ 助 成 金	地域新事業創出発展基盤促進事業費補助金	10,000,000	補助：経済産業省
	食を活かしてふるさと満喫事業	142,000	補助：新潟県
	新しい公共支援事業（利子補給補助）	42,082	補助：新しい公共にいがた会議
		計	10,184,082
そ の 他	物販事業	54,180	自主：書籍（マチダス2011）販売
		計	54,180

別紙2 非営利事業支出及び補助金・助成金事業支出、その他事業支出の内訳

科目	非営利事業	補助金・助成金事業	その他事業	備考
(1) 人件費				
職員給料手当	5,420,798	3,076,824	0	事務局職員（5名分）
臨時雇賃金	450,000	0	0	臨時雇用職員（1名）
法定福利費	570,629	430,151	0	社会保険料事業主負担分
福利厚生費	4,405	7,770	0	健康診断・事業主負担分
事業スタッフ報酬	1,597,500	5,463,000	0	事業従事者への報酬
人件費 計	8,043,332	8,977,745	0	
(2) その他経費				
外注費	939,159	47,250	0	食材購入費、掲示物製作費等
謝金	390,000	437,772	0	講師・アドバイザー謝金
研修費	0	0	0	
旅費交通費	1,017,294	851,545	0	講師、職員、事業スタッフ旅費
事務用品費	183,696	676	0	事務用品
消耗品費	59,977	27,790	100,000	日用消耗品等
印刷費	619,745	117,075	0	リーフレット等印刷費
会議費	73,645	0	0	茶菓代、弁当代等
通信費	524,836	15,125	0	電話、メール便、プロバイダー料等
使用料及び借料	927,314	328,850	0	会場使用料、機器借料等
水道光熱費	274,289	0	0	GT推進施設・維持経費
新聞図書費	22,000	50,000	0	新聞、研修用テキスト代
広告宣伝費	84,000	0	0	広告掲載料
支払手数料	7,072	22,155	0	振込手数料
接待交差費	0	16,890	0	訪問先手土産代
租税公課	700	0	0	収入印紙
雑費	101,500	0	0	イベント保険、システム利用料
その他経費 計	5,225,227	1,915,128	100,000	
事業費 計	13,268,559	10,892,873	100,000	

平成23年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

平成24年3月31日時点

科目	金額		科目	金額	
I 資産の部			II 負債の部		
I 流動資産の部			1 流動負債の部		
(現金・預金)			未払金	2,702,762	
現金	141,783		短期借入金	11,000,000	
普通預金	6,161,838		未払い法人税等	70,000	
			未払い消費税	0	
(売上債権)			預り金	274,661	
未収金	5,337,614		仮受金	0	
			2 固定負債の部		
(その他流動資産)					
立替金	162,092			0	
短期貸付金	2,500,000				
			負債合計		14,047,423
流動資産合計		14,303,327			
2 固定資産の部			III 正味財産の部		
出資金	10,000		前期繰越財産	30,912	
固定資産合計		10,000	当期正味財産増減額	234,992	
			正味財産合計		265,904
資産合計		14,313,327	負債及び正味財産合計		14,313,327

平成23年度 財産目録

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

平成24年3月31日時点

科目・摘要		金額	
1 資産の部			
1) 流動資産の部			
現金預金	現金	141,783	
	普通預金（村上信用金庫本店）	6,142,653	
	普通預金（新潟労働金庫村上支店）	19,185	
			6,303,621
立替金	社会保険料	62,092	
	村上地域GT協議会事業経費	100,000	
			162,092
未収金	あさひまほろぼ夢農園・委託費	323,000	
	村上地域GT協議会事務経費	118,525	
	新しい公共支援・出前講座謝金等	80,000	
	庄内・村上岩船広域連携・事務経費	323,840	
	地域新事業創出発展基盤促進事業費補助金	2,966,349	
	食を活かしてふるさと満喫事業補助金	142,000	
	地域活動体験コーディネーター・委託費	1,124,550	
	中間支援スタッフ研修・委託費	259,350	
			5,337,614
短期貸付金	トキ×ミツバチ交流プロジェクト	2,500,000	
			2,500,000
出資金		10,000	
			10,000
	流動資産の部 合計		14,313,327
2) 固定資産の部			
	固定資産の部 合計	0	0
	資産の部 合計		14,313,327
2 負債の部			
1) 流動負債の部			
預り金	源泉税／雇用保険料／社会保険料	274,661	
			274,661
短期借入金		11,000,000	
			11,000,000
未払法人税		70,000	
			70,000
未払金	ノウハウ移転：講師謝金・旅費交通費	117,319	
	食花Prog：WEBシステム利用料負担金	90,000	
	職員人件費（3月分）	641,700	
	職員交通費（3月分業務移動）	61,740	
	法定福利費	169,354	
	事業スタッフ支払報酬・旅費交通費	1,365,100	
	理事会交通費	159,500	
	コピーカウンター料金	33,290	
	通信費（電話料・メール便代）	37,097	
	水道光熱費	19,205	
	事務用品費	8,457	
			2,702,762
	流動負債の部 合計		14,047,423
2) 固定負債の部			
	固定負債の部 合計	0	0
	負債の部 合計		14,047,423
3 正味財産の部			
	正味財産		265,904